

# 東九州地域の活性化推進に関する要望

平成28年8月

東九州軸推進機構

会長 麻生 泰



# 東九州地域の活性化推進に関する要望

平成28年8月

東九州軸推進機構

豊かな自然に恵まれた東九州地域は、我が国の食料・木材供給基地であり、温泉をはじめとする観光資源に恵まれ、さらに、東九州メディカルバレー構想による医療機器産業の集積や自動車・ハイテク産業の進出が進んでいます。しかしながら、東九州自動車道をはじめとする高速交通体系の整備の立ち遅れにより、そのポテンシャルを十分に活かしきれていないのが現状であります。

また、この度の熊本地震でも「命の道」となる災害に強い道路の重要性が改めて明らかになり、ミッシングリンクの早期解消による幹線道路広域ネットワークの整備が喫緊の課題となっています。

さらに、南海トラフ巨大地震が発生した場合、東九州地域においては、産業・観光などの経済活動に様々な影響が懸念されることから、東九州自動車道や港湾施設等の整備については、防災上の観点からも、一日も早い完成が望まれます。

整備新幹線など依然として東西格差はあるものの、今年4月の椎田南IC～豊前IC間の開通により、東九州自動車道は、ようやく北九州市から宮崎市まで繋がることとなりました。沿線地域においては、いかにこの道路を活用し、産業経済の活性化を図っていくかが今後の重要な課題となります。

一方で、残された未開通部分の早期完成に向けて一層の取組み強化を図ることで、全線開通へと繋げることが喫緊の課題です。

政府におかれては、このような東九州地域の実情に特段の配慮を賜り、平成29年度政府予算編成にあたっては、下記事項についてご高配を賜りますよう要望いたします。

## I. 循環型高速交通網の整備拡充

### ○ 高規格幹線道路等の整備促進

東九州地域の持つ優れた地域特性を活かし、本地域はもとより九州の一体的発展を図るには、各地域間を結ぶ循環型の高規格幹線道路等の整備促進が喫緊の課題です。

熊本地震に際しては、高速道路は震源域近くであったにも関わらず早期に復旧し、復旧活動や緊急物資の輸送経路となり、まさに「命の道」としての高速道路の重要性が再認識されているところです。

東九州地域は、南海トラフの巨大地震発生時においても、甚大な被害が想定される地域でありながら、東九州自動車道は、全延長 436 kmのうち、約 2割が未だ開通していません。特に宮崎以南にミッシングリンク（未事業化区間）が存在し、大規模災害時、「命の道」としての機能を果たすことは不可能です。

また、地方創生の実現に向けた取組みには、高速道路ネットワークの早期完成が必要不可欠であり、地元にとって永年の悲願でもあります。

このような地域の現状と、熱意を十分におくみ取りいただき、高速道路整備予算を安定的に確保し、真に必要な道路である下記道路の整備に重点的に配分することにより、整備の促進と地域格差の早期解消がなされるよう、下記項目を強く要望します。

#### 1. 東九州自動車道の整備促進

- (1) 整備区間の早期完成
  - ・ 清武南～油津間、夏井～鹿屋串良間
- (2) 基本計画区間の内、未事業化区間の早期事業化
  - ・ 油津～串間～夏井間
- (3) 暫定 2 車線区間の 4 車線化
- (4) 休憩施設の更なる充実

#### 2. 九州中央自動車道（九州横断自動車道延岡線）の整備促進

- (1) 新直轄方式による整備区間の早期完成
  - ・ 御船～山都間
- (2) 基本計画区間の内、未事業化区間の早期事業化
  - ・ 山都～延岡間

### 3. 高速自動車国道に並行する一般国道の自動車専用道路の早期完成

(1) 国道 218 号高千穂日之影道路の早期完成

### 4. 地域高規格道路の整備促進

都城志布志道路、中九州横断道路（大分～熊本間）、中津日田道路などの事業促進

## II. 交流・連携に不可欠な社会資本の整備

### 1. 日豊本線の高速化促進

東九州地域を縦貫する唯一の幹線鉄道である日豊本線の高速化・複線化を実現するため、鉄道整備に係る制度の拡充・強化を図るとともに、フリーゲージトレインの技術開発を促進し、日豊本線での早期実用化を図る。

### 2. 下関北九州道路の早期実現

本州と九州を繋ぎ、リダンダンシーの確保に不可欠な下関北九州道路の早期実現を図る。

### 3. 東九州新幹線の整備計画路線への格上げ

東九州新幹線は、九州域内の新幹線ネットワークを形成するものであり、整備計画路線への格上げ、建設財源の確保の早期実現を図る。

### 4. 北九州空港の機能拡充

24 時間発着可能な海上空港であるという特性を活かし、航空貨物拠点化の推進や、大型貨物機による安定した離着陸を確保するための滑走路 3,000m への延伸を図る。

### 5. 港湾機能の強化

アジア諸国に近い地理的優位性を活かした海上物流ネットワークの構築及び、地域の基幹産業の競争力強化に資する、船舶大型化等への対応のため、北九州港、大分港、細島港、志布志港等における港湾機能の充実化を図る。

### III. 産業振興・地域活性化の促進

#### 1. 地方拠点都市地域の整備促進

東九州地域の一体的発展に資するため、「地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律」に基づき、都市基盤整備に関する特段の予算措置を図る。

#### 2. 東九州地域における高度情報通信社会実現に向けた情報通信基盤の整備促進

情報通信技術（ICT）を活用した高度情報通信社会の実現を推進するため、東九州地域における光ファイバー網等の情報通信基盤の早期整備に向けた施策の充実・強化を図る。

以 上

平成 2 8 年 8 月

#### 東九州軸推進機構

会 長	麻 生	泰	((一社)九州経済連合会会長)
副会長	利 島	康 司	(北九州商工会議所会頭)
副会長	姫 野	清 高	(大分商工会議所会頭)
副会長	米 良	充 典	(宮崎商工会議所会頭)
副会長	岩 崎	芳太郎	(鹿児島商工会議所会頭)
副会長	宇佐見	昇	(福岡経済同友会代表幹事)
副会長	姫 野	昌 治	(大分経済同友会代表幹事)
副会長	小 池	光 一	(宮崎経済同友会代表幹事)
副会長	玉 川	文 生	(鹿児島経済同友会代表幹事)